

近畿大学医学部(後期) 英語

2026年 3月 1日実施

1	2	3	4	5	6	7	8
イ	ア	ア	イ	ウ	ア	イ	ア
9	10	11	12	13	14	15	
ア	ア	エ	エ	ア	エ	ウ	
16	17	18	19	20	21	22	23
ア	エ	ア	オ	オ	ア	ウ	イ
24	25	26	27	28	29	30	31
イ	イ	オ	イ	ア	オ	オ	エ
32	33	34	35	36	37	38	39
イ	エ	イ	イ	エ	オ	ア	ウ

A~C 文法・語法・語彙

(A) 「次の文を最も適した語句を用いて完成させなさい」

(1) イ <make ends meet> 「収支を合わせる, やりくりする, つじつまを合わせる」

Sarah found it increasingly difficult to make ends meet each month, as the rising cost of living outpaced her earnings.

「サラは、生活費の上昇が収入を上回ったため、毎月収支を合わせることが次第に難しくなっていると感じた」

(2) ア “can tell the difference between ~ and ...” 「~と...を見分けることができる」

A: “Only after hours of analysis could she tell the difference between the fake and the authentic signatures.”

B: “Exactly—the copy was almost flawless.”

A: 「何時間も分析して初めて、彼女は偽物と本物の署名の違いを見分けることができたんだ」

B: 「そのとおり。その複製はほとんど完璧だったね」

(3) ア cross 「腹を立てている」

My mother was cross when I forgot to call her before 6 p.m.

「私が午後6時前に電話するのを忘れたとき、母は腹を立てていた」

(4) イ <turn to ~ for ...> 「...を求めて~に頼る」

When in trouble, she always turns to her older brother for advice.

「困ったとき、彼女はいつも助言を求めて年上の兄に頼る」

- (B) 「下線部を引いた語句と最も意味の近い答えを選びなさい」
- (5) ウ <overcome all obstacles> 「すべての障害を克服する，万難を排して成し遂げる」
 After weeks of preparation, the team was ready to pull out all the stops.
 「何週間もの準備を経て，そのチームは持てる力をすべて出し切る用意ができていた」
- (6) ア clarify 「～を明らかにする」
 The new genetic study shed light on the possible causes of the rare neurological disorder.
 「その新しい遺伝学的研究は，まれな神経疾患の考えられる原因を明らかにした」
- (C) 「以下の各段落を，最も適切な語句を補って完成させなさい」
- (7) イ “Understanding the experiences of infants has presented a puzzle to science.”
 「幼児の経験を理解することは科学にとって難題であった」
 それぞれの選択肢は，ア danger 「危険」 イ puzzle 「難問、難題」 ウ paradox 「逆説」 エ discovery 「発見」
- (8) ア “Among the debates surrounding the developing mind is the question of when consciousness first emerges.”
 「発育途上の心をめぐる議論の一つは，意識が初めて現れるのはいつなのかという問いである」
 それぞれの選択肢は，ア emerges 「出現する」 イ escapes 「逃げる」 ウ embarks 「乗船する」
 エ expands 「拡大する」
- (9) ア “And that question is tied to the scientific challenge of defining conscious experience.”
 「そしてその問いは，意識的経験を定義するという科学における難題と結びついている」
 それぞれの選択肢は，ア defining 「定義すること」 イ revising 「改訂すること」 ウ comparing 「比較すること」 エ maintaining 「維持すること」
- (10) ア “The 3,500-year-old city, named Peñico, is believed to have served as a key trading hub connecting early Pacific coast communities with those living in the Andes mountains and Amazon basin.”
 「3,500 年前のペニコという都市は，昔の太平洋沿岸地域とアンデス山脈やアマゾン川流域に住む人々をつなぐ重要な貿易拠点として機能していたと思われる」
 それぞれの選択肢は，ア hub 「拠点」 イ focus 「焦点」 ウ route 「道路」 エ border 「境界」
- (11) エ “~ around the same time that early civilizations were already thriving and flourishing in the Middle East and Asia ~”
 「中東やアジアで初期の文明がすでに成長し繁栄しているのとほぼ同じ時代に」
 それぞれの選択肢は，ア passing 「通り過ぎている」 イ arriving 「到着している」 ウ capturing 「捕獲している」 エ flourishing 「繁栄している」
- (12) エ “It is believed to have developed in isolation to other comparative early civilizations in India, Egypt, Sumeria, and China.”
 「それは，インド，エジプト，シュメール，中国における他の比較可能な初期の文明からは孤立して発展したと思われる」
 それぞれの選択肢は，ア collective 「集団的な」 イ cooperative 「協力的な」 ウ competitive 「競争的な」 エ comparative 「比較可能な」

- (13) ア “Research on OpenAI’s chatbot ChatGPT across 670 languages reveals African languages have the least support.”
 「670 言語にわたるオープン AI チャットボットである ChatGPT についての研究によると、アフリカの言語のサポートが最も少ない」
 それぞれの選択肢は、ア least 「最少の」 イ latest 「最新の」 ウ minimal 「最小限の」 エ primary 「主要な」
- (14) エ “I have long known about the limitations of importing AI tools devoid of local context into Africa.”
 「ローカルコンテキストに欠ける AI ツールをアフリカに持ち込むことの限界を、私はずいぶん前から知っている」
 それぞれの選択肢は、ア benefits 「利益」 イ potentials 「潜在力」 ウ restrains 「制約」 エ limitations 「限界」
- (15) ウ “we quickly discovered the shortcomings of AI models commonly used to detect features such as houses and street patterns in aerial images.”
 「航空写真における住宅や街路のパターンのような特徴を探知するのに広く用いられている AI モデルの欠点を、私たちはすぐに発見した」
 それぞれの選択肢は、ア inputs 「入力」 イ systems 「体系」 ウ features 「特徴」 エ technology 「技術」

D, E 長文

- (D) 「本文中の下線を引いた単語を見つけ、代わりに用いることができるものとして最も適当なものを選びなさい」
- (16) 「第 2 段落(P1)の set out に最も近い意味の単語はどの選択肢か」
 正解はア。sought は seek の過去形である。<seek to do ~>は「~しようと努める」という意味であり、<set out to do ~>の「~しようと動き出す」という意味に最も近いと判断できる。下線部を含む 1 文の意味は「研究チームは、大規模言語モデル(LLMs)の使用で生じる『認知的コスト』を見極めようとしていたのだが、大規模言語モデルは、学界を含む社会のあらゆる領域で、いよいよどこでもお目にかかるようになった」である。他の選択肢の意味はイ「出発した」、ウ「整理した」、エ「説明した」、オ「協力した」である。
- (17) 「第 2 段落(P2)の readings に最も近い意味の単語はどの選択肢か」
 正解はエ。measurements は「測定値」という意味。ここでの“The readings”は「EEG (脳波計) を用いた実験の読み取り値」を指すため measurements が最も意味が近いと判断できる。下線部を含む 1 文の意味は「その測定結果は、記憶や学習に関連する脳領域での活動が低下していることを示していた」である。他の選択肢の意味はア「作文」、イ「成績」、ウ「順位」、オ「理解」
- (18) 「第 3 段落(P3)の bypass に最も近い意味の単語はどの選択肢か」
 正解はア。avoid は「~を避ける」という意味。下線部を含む 1 文の意味としては「研究者たちは、『AI ツールを頻繁に使う利用者は、教材に対するより深い関与を行わずに済ませがちで、その結果、ブレインストーミングや問題解決のような課題において〈スキルの衰え〉をもたらす』と推論した」という意味であるから、bypass は「~を迂回する」という意味が代表的だが、今回文脈では「本来通るべき過程を経ずに済ませる」といった意味で使われているため、選択肢の中では avoid が最も近いと判断できる。他の選択肢の意味はイ「~を推進する」、ウ「関与する」、エ「進む」、オ「~に取って代わる」

(E) 「次の各設問に対する解答として最も適当なものを選びなさい」

(19) 「本文において説明されている、研究の主要な目的は何か」

- ア 「AI が生産性を高めるかどうかを評価すること」
- イ 「AI が脳の活動を改善するかどうかを判断すること」
- ウ 「ChatGPT を使うことが使用者に対して持つ長期的な影響を調査すること」
- エ 「脳が持つ ChatGPT に対する心理的な影響を評価すること」
- オ 「AI とやり取りするときに生じる脳の機能の影響を調査すること」

正解はオ。第 1 段落第 3, 4 文に注目する。解答に関係する情報を中心に読んでみると、第 3 文のおよその意味として、「研究チームは、大規模言語モデル(LLMs)の使用で生じる『認知的コスト』を見極め」ということが読み取れる。また第 4 文からは、「合成宿題支援ツールを使うことが、頭にどのような影響を及ぼすのかを判断するために、研究者が SAT の何本かの作文を書くという課題を 54 名の人々に課した」ということがわかる。以上より、研究の目的は、代表的な AI である大規模言語モデルを課題実施に用いることで、脳にどのような影響が出るのかということが読み取れる。以上の内容に最も近い選択肢はオである。

(20) 「本文によると、AI を使うことの結果はどのようなものか」

- ア 「AI の継続的使用は脳萎縮につながることもある」
- イ 「AI の繰り返しの使用は、重大な脳損傷を結果としてもたらす可能性がある」
- ウ 「短期的な AI の利用者は、Google 検索のような道具にもっと頼ることもある」
- エ 「AI の時折の使用は、能力を高めて創造力を制限することもある」
- オ 「ずっと AI を使い続けることで、それに対する依存度は上がり、自分で考えることができなくなることもある」

正解はオ。第 3 段落が解答の根拠となる。その 1 文の意味は「研究者たちは、『AI ツールを頻繁に使う利用者は、教材に対するより深い関与を行わずに済ませがちで、その結果、ブレインストーミングや問題解決のような課題において〈スキルの衰え〉をもたらす』と推論した」である。そして第 2 文に、「それが、『批判的な探求心が下がったり、操作されやすくなってしまったり、独創性が少なくなったりするなど』の事象を含む、長期にわたる派生的影響を持つ可能性がある」である。以上のことに適合する選択肢は、オとなる。

(21) 「本文によると、以下の記述のうち、研究者たちが用いた方法論的アプローチを最もよく記述しているのはどれか」

- ア 「神経反応を計測するために各々の人が脳波装置を装着した」
- イ 「対照群の参加者は ChatGPT の使用を許された」
- ウ 「研究者たちは、SAT 形式の作文をいくつか書くことを課せられた」
- エ 「対象者たちは、Google、一般的な大規模言語モデル、ChatGPT のいずれかを使うグループに分けられた」
- オ 「研究者たちは、課題終了の前後の参加者の脳波を比較した」

正解はア。第 1 段落の最後の一文に、「各参加者は作文作成中の脳活動を監視できるよう、脳波測定装置を装着した」と記載されているのが根拠となる。

(22) 「本文に記載されている情報によって最も裏付けられる記述は、次のうちどれか？」

- ア 「AI の使用は学界に限定されている」
- イ 「AI を使用することで、SAT でエッセイの質が向上する」
- ウ 「使用者は調査ツールとしてますます AI を好むようになっていく」
- エ 「研究者が ChatGPT を選んだのは、それが最も信頼できる AI だからである」
- オ 「この研究は高校生に焦点を当てており、成人の参加者は含まれていなかった」

正解はウ。第 1 段落第 3 文が根拠となる。その 1 文の意味は、「研究チームは、大規模言語モデル(LLMs)の使用で生じる『認知的コスト』を見極めようとしていたのだが、大規模言語モデ

ルは、学界を含む社会のあらゆる領域で、いよいよどこでもお目にかかるようになった」である。ここから、大規模言語モデルという AI モデルが社会で大いに普及してきたことが確認できるので、ウが正解とわかる。

- (23) 「本来の目的に関連して、今回の研究の調査結果を最もよく反映している記述はどれか」

ア 「研究の結果、全体として Google は ChatGPT よりも効果的であることが判明した」
 イ 「外部の助けを借りなかった参加者は、認知的没頭度の高まりを示した」
 ウ 「ChatGPT を使用した参加者の学習ぶりは、Google を使用した参加者と同程度であった」
 エ 「ChatGPT のような AI アシスタントは、タスクの効率を高め、作業負荷を軽減する」
 オ 「ChatGPT を使用した参加者は、より高い満足度を報告したが、記憶した情報はより少なかった」

正解はイ。設問に「本来の目的に関連して」と但し書きがついている意味までは測りかねるが、少なくとも選択肢の中で第 2 段落に述べられた調査結果に該当するものを探すと、正解はイだと判断できる。同段落第 5 文が根拠となる。その 1 文の意味は「自らの脳だけを用いた集団はまた、自分の作文の作業に対して、より没頭し満足してした」である。

F,G 長文

- (F) 「本文中の下線を引いた単語を見つけ、代わりに用いることができるものとして最も適当なものを選びなさい」

- (24) 「第 2 段落(P2)の plummeted に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はイ。plummeted は「(真逆さまに) 急落した、垂直に落ちた」という意味であり、tumbled 「(価値や数値が) 暴落した、急落した」が最も近い意味の単語である。下線部を含む一文の意味は「場所によっては、その数は最大 99 パーセントも激減しており、2021 年以降、これらのサメは絶滅危惧種に分類されている」である。他の選択肢の意味は、ア 「変化した」、ウ 「影響した」、エ 「増加した」、オ 「控除した」。

- (25) 「第 4 段落(P4)の stabilized に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はイ。stabilized は「安定した、不変になった」という意味であり、steadied 「安定した、落ち着いた」が最も近い意味の単語である。下線部を含む一文の意味は「その結果、個体数は安定し、現在ではサメとの遭遇体験がバハマに年間約 1 億 1000 万ドルをもたらしている」である。他の選択肢の意味は、ア 「ロビー活動をした」、ウ 「刷新した」、エ 「埋め込んだ」、オ 「活性化した」。

- (26) 「第 4 段落(P4)の lifeline に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はオ。lifeline は「生命線、命綱」という意味であり、これが生きていくための頼みの綱であると考え、sustenance 「生計を立てる手段」が最も近い意味の単語である。下線部を含む一文の意味は「シャークエコツーリズムが、海に生計を依存する地元住民にとって生命線となることが期待されている」である。他の選択肢の意味は、ア 「品質」、イ 「方向」、ウ 「割合」、エ 「緊急事態」。

- (G) 「次の各設問に対する解答として最も適当なものを選びなさい」

- (27) 「本文によれば、ペレスメジロザメが静止している時にエラ呼吸をするために使う方法の 1 つはどれか」

ア 「浅瀬を利用すること」
 イ 「エラに水を押し流すために筋肉を動かすこと」
 ウ 「速く泳ぐ際に (流線型の) 体型を活かすこと」
 エ 「受動的にエラ呼吸をするために水流に頼ること」
 オ 「獲物を追う際に水の流れを自然に利用すること」

正解はイ。第 1 段落第 2 文に「彼らは浅瀬で休んでいる間にも口の筋肉を使ってエラ呼吸をす

ることもでき」とあることから、イが正解であるとわかる。

- (28) 「本文によれば、なぜ 1980 年代以降ペレスメジロザメの個体数が著しく減少したのか」

- ア 「乱獲」
- イ 「過剰な観光」
- ウ 「生息地の破壊」
- エ 「工業汚染」
- オ 「絶滅危惧種としての分類」

正解はア。第 2 段落第 3 文に「この性質（生息地から遠く離れない性質）のせいで彼らは漁師の格好の標的となり、その漁師たちは過去にはスープ用にヒレをアジアに売り、今でも食用の肉、皮革用の皮、そして～肝油用の肝臓を地元で販売している」とあることから、漁師たちに捕獲されていたと考えられるため、アが正解とわかる。

- (29) 「本文によれば、ペレスメジロザメの自然な習性がもたらした良い影響は何か」

- ア 「研究や保護が容易になった」
- イ 「サメ保護区の設立につながった」
- ウ 「絶滅危惧種に分類される結果となった」
- エ 「人間の活動との接触を減らした」
- オ 「カリブ海におけるダイビングエコリズム産業を活性化させた」

正解はオ。第 3 段落第 1、2 文が根拠となる。その 1 文の意味は、「しかし、彼らの定住的傾向には利点もある。サメが同じ場所に留まる傾向があるため、ダイビング業者は確実にサメに会えると当てにすることができ、その結果、カリブ海では成長著しいダイビングエコリズム産業が生まれた」である。

- (30) 「本文によれば、バハマはペレスメジロザメの個体数維持にどのように貢献しているか」

- ア 「サメへの餌付け禁止を実施することで」
- イ 「違法漁業に対する罰金を引き上げることで」
- ウ 「毎年多額の資金を生み出すことで」
- エ 「全ての魚種のための海洋保護区を設立することで」
- オ 「特定の漁法を禁止し、避難場所を設けることで」

正解はオ。根拠となるのは最終段落第 2 文である。その 1 文の意味は、「バハマでは 1990 年代に延縄漁が禁止され、2011 年にはサメ保護区が指定された」である。

- (31) 「本文によれば、責任をもってシャークダイビングツーリズムを行うことによる結果は何か」

- ア 「サメの自然な行動が変化する」
- イ 「サメ個体群への捕食が抑制される」
- ウ 「過剰給餌と人間への依存を招く」
- エ 「地域社会に対して最低限の経済的利益を生み出す」
- オ 「サメにとって安定かつ継続的な食料源を提供する」

正解はエ。根拠となるのは最終段落最終文である。その意味は、「シャークエコリズムが、海に生計を依存する地元住民にとって生命線となることが期待される」である。ところで、問題文中の「責任をもってシャークダイビングツーリズムを行うこと」には、「サメに与える魚の量の管理」だけでなく、バハマ政府による「延縄漁の禁止」「サメ保護区の指定」も含まれており、結果的にバハマには年間約 1 億 1000 万ドルの利益がもたらされることが、最終段落第 1～3 文よりわかる。さらに最終文より、その利益が地域社会の lifeline 「生命線」になるということ踏まえると、「生命線」つまり「ギリギリの状況でも何とか命を維持するためにする手段」と考えるならば、地域社会に対して minimal 「最低限の」利益を生み出すと解釈することもできなくはない。

H 長文

- (32) 「第1段落(P1)によると、女性が自宅ではなく病院で出産する可能性を高める事情は何か」

ア 「彼女たちは自宅の瘴気を避けたいと思っていた」
 イ 「彼女たちは金銭的・社会的・医療的な問題に直面していた」
 ウ 「彼女たちは病院での死亡率上昇が理由で思いとどまった」
 エ 「彼女たちは無免許医師に出産を手伝ってほしいと思っていた」
 オ 「彼女たちは出産直後の母親における産褥熱の流行拡大に驚いた」

正解はイ。第1段落第4文が根拠となる。その意味は「ほとんどの女性は自宅で出産していたが、貧困、非嫡出、あるいは産科合併症のために入院を余儀なくされた女性は、25から30パーセントという非常に高い死亡率に直面していた」である。よってイが正解だとわかる。

- (33) 「ゼンメルヴァイスが、産科診療所での観察に基づき、提唱した説は何か」

ア 「産褥熱を原因とする死亡率は同じであった」
 イ 「彼自身の友人の死は、出産の失敗によるものであった」
 ウ 「医学生たちは何とかして母親たちを健康に保っていた」
 エ 「第一病棟の学生たちと産褥熱による死亡率との間には相関関係が存在する」
 オ 「解剖室から直接やってきた第二病棟の助産師たちが、おそらく女性たちをその病気で死なせる原因となっていた」

正解はエ。まずこの診療所には病棟が2つある点を確認しておこう。そして第2段落第1文に、「2つの病棟はただ1点を除き条件が同一であり、それは第一病棟では学生が教育を受けていたのに対し、第二病棟では助産師が働いていたことであった」とある。ゼンメルヴァイスの仮説に関しては、第2段落第2文に、「彼は、分娩中に診察した患者に学生が何かをうつしているのではないかという仮説を立てた」とある。さらに同段落第4文では、その仮説がより詳細に述べられている。その1文の意味は「彼は、解剖室から直接産科病棟にきた学生が、死亡した母親から健康な母親へとその感染症を運んでいると結論づけた」である。学生がいるのは第一病棟であるから、エが正解だとわかる。

- (34) 「第3段落(P3)において、ゼンメルヴァイスが提唱した説に対する反応として示されているのは何か」

ア 「全面的な拒絶」
 イ 「受け入れられたが、同時に拒絶もされた」
 ウ 「新生児の死亡数の劇的な減少」
 エ 「完全な受け入れと、その理論の重要性の認識」
 オ 「ゼンメルヴァイスの上司の多大な貢献による、手洗い習慣の迅速な採用」

正解はイ。第3段落第2文、及び最終文が根拠となる。まず第2文には「ウィーンの若手医師たちはゼンメルヴァイスの発見の重要性を認め、彼を支援した」とあり、ゼンメルヴァイスの説が若手には受け入れられていたことがわかる。そして最終文には「一方で、彼の上司は批判的であった」とある。よってイが正解だとわかる。

- (35) 「聖ロクス病院でゼンメルヴァイスが用いた方法の効果はどんなものだったか」

ア 「別の産褥熱の流行を引き起こした」
 イ 「産科の死亡率が100分の1未満に低下した」
 ウ 「彼の役職に対して不利な制限が課された」
 エ 「プラハとウィーンの病院が明らかに良い結果を出した」
 オ 「彼の対策は講じられたものの、産褥熱は完全に根絶された」

正解はイ。第4段落第8文が根拠となる。その1文の意味は「彼のとった措置により、死亡率

は即座に低下し、彼の在任期間中の平均死亡率はわずか0.85%であった」である。ちなみにエで言及されているプラハとウィーンは、聖ロクス病院との対比のためにあり、同段落最終文によれば産科死亡率は10～15%という高い水準で推移していた。これにより、ゼンメルヴァイスのとった措置がいかに驚異的な効果を上げていたかがよくわかる。

(36) 「第5段落(P5)において、“Vienna”という単語が指している内容は何か」

- ア 「ペスト大学のライバル校のキャンパス」
- イ 「オーストリアに位置する都市の全域」
- ウ 「古巣の大学にいるゼンメルヴァイスの信頼できる同僚たち」
- エ 「その都市の医学的権威者層および専門家たちの意見」
- オ 『『ウィーン医学週報』の主編集者のみ』

正解はエ。Vienna を含む1文の意味は「しかしウィーンは依然として彼に対して敵対的であり、『ウィーン医学週報』の編集者は「塩素水による手洗いなどというナンセンスはやめる時だ」と記した」である。ここでの「ウィーン」が単に都市のことを指しているわけではなく、ウィーンという都市を中心とする学派、あるいはそこを地盤とする学問的権威者層、またはウィーンにおける医学専門家たちの総意、といった意味が予想できる。それに該当するのがエである。

(37) 「第6段落(P6)で述べられている対立は何か」

- ア 「自分のアドバイスを無視した患者たちに対するゼンメルヴァイスの怒り」
- イ 「かつて鋭敏だったゼンメルヴァイスの精神能力の避けられない衰退」
- ウ 「ゼンメルヴァイスと高名な病理学者との間の個人的な争い」
- エ 「外国人によって提示された馴染みのないアイデアに対する、歴史的な拒絶」
- オ 「新しい医学的アイデアと、より伝統的で由緒ある見解との間の不一致」

正解はオ。第2～5段落までで示されたゼンメルヴァイスの発見から、それに基づく指導・提案に対して、当時の医学界がどのような反応を示したのかが述べられているのが第6段落である。同段落第2文では「彼は海外の著名な産科医や医学会にこの本を送ったが、反応は否定的なものであった」とあり、その後同段落最終文では「ドイツの医師および自然科学者の会議において、病理学者のルドルフ・ウィルヒョウを含む出席者の多くが、彼の学説を拒絶した」と述べられており、全般に従来の医学的伝統に属する主流派には否定されたことが窺える。背景知識としても、ゼンメルヴァイスの人生を論じる際に、新しい発見と社会による受容の難しさといったテーマは必ずと言ってよいほど扱われることは知っておいてよいだろう。

(38) 「同僚たちがゼンメルヴァイスを精神病院に収容した理由を最も直接的に説明している状況はどれか」

- ア 「おそらく病気のために、彼が次第に不安定になっていた」
- イ 「彼の学説がウィルヒョウや他の科学者たちに拒絶された」
- ウ 「衰弱させるような鬱病のせいで、講義を行うことがほぼ不可能になった」
- エ 「理由は不明だが、彼は一緒に働いていた者たちによって騙されて収容所に入れられた」
- オ 「彼は不可解なほど暴力的になり、衛兵たちは自分たちの安全のために彼を制圧するしかなかった」

正解はア。設問に述べられた同僚たちの行動は、第7段落第4文に述べられており、「同僚たちは最終的に彼を精神病院へ誘い出し、彼は抗議したものの衛兵によって連行された」とある。そのような行動をとった理由を「直接的に」説明する状況は何かと問われているので、直前の同段落第3文を確認する。その1文の意味は「1865年になる頃には、認知症または進行した梅毒のためか、彼の行動は不安定になった」である。これを言い換えたものがアである。

(39) 「ゼンメルヴァイスの最期の悲劇を最もよく捉えているテーマはどれか」

- ア 「科学の進歩は、伝統に対してしばしば平和的に勝利する」
- イ 「精神疾患は、感染症よりも危険である可能性がある」
- ウ 「輝かしい発見であっても拒絶されることがあり、その著者を孤立させることがある」
- エ 「産褥熱が完全に消失したのは、ゼンメルヴァイスが死亡した後でしかなかった」
- オ 「医学知識の進歩は、時代遅れの意見を拒絶することによってのみ達成される」

正解はウ。設問文は、「ゼンメルヴァイスの最期の悲劇を最もよく捉えているテーマはどれか？」となっているので、正解は「悲劇」を捉えたものとなる。アは「平和的に勝利する」となっており、「悲劇」とは捉え難いので除外。イについては、そもそも「精神疾患と感染症のどちらがより危険であるか」という内容は本文中には述べられていないので除外する。エについては、確かに悲劇的ではあるが、それはゼンメルヴァイス個人に起こった悲劇というよりも世界全体の悲劇であるので除外する。オについても、「ゼンメルヴァイス個人に起こった最期の悲劇」ではないので除外。選択肢ウは、本文の第5段落第3文および第6段落全体の記載にあるように「輝かしい発見であっても拒絶され」、第7段落全体の記載にあるように「精神を病んで施設に隔離された」という、ゼンメルヴァイス個人に起こった悲劇であるので正解となる。

講評

形式：近畿大学 2025 年度前・後期入試と同様。

内容：

- A～C** [文法・語法・語彙] (標準) 昨年度前期試験と(C)の英文の語数はあまり変わらないが、問われている知識は標準的だが、(C)には若干難しいものも含まれる。
- D～E** [長文] (標準) 「AI チャットボットの使用による認知能力低下」に関する英文。(D)の同義語選択はやや易化、(E)の内容一致には判断を迷わせる選択肢が用意されている。
- F～G** [長文] (標準) 「ペレスメジロザメの個体数回復につながる、サメの習性を利用したエコツーリズム」に関する英文。(G)の設問には一部判断が難しいものが含まれる。
- H** [長文] (標準) 「産褥熱の原因究明を成し遂げたゼンメルヴァイスの生涯」に関する英文。文章量は大問中もっとも多いが、論旨はつかみやすい。設問も段落の並び通りに用意されており、取り組み易い。

形式面では昨年度と大きな違いはないが、設問も含めた分量は昨年度と同等で、今年度前期より取り組み易い。長文の設問に関しては同義語選択問題が依然としてやや難しく、内容についての設問にも判断に迷うものが含まれる。とるべき設問でしっかり得点できるかどうか鍵を握る。目標は 65%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156

医学部進学予備校 **メビオ**
☎0120-146-156 <https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校
heart of medicine **YMS**

医学部専門予備校
英進館メビオ 福岡校

☎03-3370-0410
<https://yms.ne.jp/>

☎0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>



登録はこちらから

2泊3日無料体験

授業 × 食堂 × 寮 を無料で体験できる！



無料体験期間

- ①2/8(日)～2/10(火)
- ②2/15(日)～2/17(火)
- ③2/22(日)～2/24(火)
- ④3/1(日)～3/3(火)
- ⑤3/8(日)～3/10(火)
- ⑥3/15(日)～3/17(火)

詳細やお申込はこちらから



医学部進学予備校 **メビオ** フリーダイヤル ☎0120-146-156

校舎にて個別説明会も随時開催しています。
【受付時間】9:00～21:00 (土日祝可)

大阪府大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋
天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩